

## 市民モニターアンケート結果 活用状況

担当部署	交通政策課
アンケート名	公共交通について
アンケート実施期間	令和4年8月19日～29日

### アンケート活用状況

公共交通の充実・利便性の向上を図るため、また、将来の移動手段の確保について検討を行うため、現在の公共交通への関心や要望等をお尋ねしました。

・過去3か月間(令和4年5月～7月)の行動をお尋ねする質問では、前回の回答と比較して、公共交通を使用している方の割合などは増加傾向にあるものの、コロナ禍以前の水準までは回復していないことが分かりました。

<過去4年分(令和元年度～令和4年度)の回答割合>

・主な外出手段「鉄道」「路線バス」:53.2%→27.0%→21.0%→30.9%

・公共交通利用の頻度「利用していない」:31.4%→58.6%→63.9%→51.6%

<いただいたご意見(抜粋)>

・バスの便をこれ以上減らさないでほしい。便数を増やしてほしい。

⇒市では、コロナ禍の影響を受けながらも運行を継続している交通事業者に対し、運行継続奨励金の支給や、バス路線維持のための補助を行いました。また、「路線バス・臨鉄無料デー」等の利用促事業も行いました。

今後も、地域の重要な移動手段としての公共交通を守るため、利用促進を行うと同時に、必要に応じて事業者への支援策を検討してまいります。

・水島臨海鉄道の倉敷駅の乗り入れの実現。

⇒市では、この件について、今後も西日本旅客鉄道株式会社等と協議を継続し、利便性向上に向け調整してまいります。

また、当アンケートは、令和5年3月に策定した「倉敷市地域公共交通計画」の評価指標としても活用させていただいております。

皆様からのご意見をもとに、公共交通を維持・充実させていく取り組みについて検討してまいります。ご協力ありがとうございました。